

平成28年産水稻の10a当たり平年収量（案） （ふるい目幅1.70ミリ基準ベース）

平成28年3月
統 計 部

1 全国値 531kg（ 0kg）
変動無し

2 都道府県値
前年から変動した都道府県は以下の14道県である。

①増加した道県（7道県）

北海道（+2kg）、青森県（+2kg）、岩手県（+1kg）、
宮城県（+1kg）、群馬県（+1kg）、新潟県（+1kg）、
富山県（+2kg）

②減少した県（7県）

兵庫県（-2kg）、高知県（-2kg）、福岡県（-2kg）、
熊本県（-2kg）、大分県（-1kg）、宮崎県（-1kg）、
鹿児島県（-1kg）

単位:kg

都道府県	平 年 収 量					対 前 年 差	主 な 生 産 事 情
	H 24	25	26	27	28 (案)		
全 国	530	530	530	531	531	0	
北海道	535	535	537	539	541	2	近年の収量水準が上昇傾向、収量水準が高い「ななつぼし」等の作付けの増加、成苗移植等高収量で安定的に生産する栽培技術の普及等
青 森	582	584	584	584	586	2	近年の収量水準が上昇傾向、収量水準の低い地帯の作付面積割合の減少、近年の登熟期間における平均気温の安定等
岩 手	533	533	533	533	534	1	近年の収量水準が上昇傾向、収量水準の低い地帯の作付面積割合の減少、近年の登熟期間における平均気温の安定等
宮 城	530	530	530	530	531	1	近年の収量水準が上昇傾向、比較的収量水準の高い「つや姫」の作付面積割合の増加、近年の登熟期間における平均気温の安定等
群 馬	494	494	494	494	495	1	近年の収量水準が上昇傾向、収量水準の低い「ゴロピカリ」から収量水準の高い「ゆめまつり」への移行等
新 潟	539	539	540	540	541	1	収量水準の高い「こしいぶき」等の作付面積割合の増加等
富 山	537	537	537	537	539	2	収量水準の高い「てんたかく」及び「てんこもり」の作付面積割合の増加等
兵 庫	504	504	504	504	502	△ 2	収量水準の低い「山田錦」の作付面積割合の増加、省力化・低コスト化に伴う疎植栽培の増加等
高 知	460	460	460	460	458	△ 2	近年の収量水準が下降傾向、収量水準の低い「にこまる」の作付面積割合の増加等
福 岡	499	499	499	499	497	△ 2	近年の収量水準が下降傾向、主力品種の「ヒノヒカリ」から収量水準の低い高温耐性品種「元気つくし」への移行等
熊 本	515	515	515	515	513	△ 2	近年の収量水準が下降傾向、省力化・低コスト化に伴う疎植栽培の増加等
大 分	503	503	503	503	502	△ 1	近年の収量水準が下降傾向、収量水準の高い地帯の作付面積割合の減少及び収量水準の低い地帯の作付面積割合の増加等
宮 崎	497	497	497	497	496	△ 1	近年の収量水準が下降傾向、省力化・低コスト化に伴う疎植栽培の増加等
鹿 児 島	483	483	483	483	482	△ 1	近年の収量水準が下降傾向、比較的収量水準の高い地帯の作付面積割合の減少等

平成28年産水稻の全国及び都道府県別10a当たり平年収量（案）

1 1.70mm基準ベース

2 農家等が使用しているふるい目幅ベース

単位：kg

全 国 都道府県	10a当たり 平年収量	前年産 対 差	10a当たり 平年収量	前年産 対 差
全 国	531	0	517	0
北海道	541	2	524	2
青 森	586	2	569	3
岩 手	534	1	519	1
宮 城	531	1	517	1
秋 田	573	0	554	1
山 形	595	0	578	0
福 島	542	0	526	0
茨 城	524	0	516	1
栃 木	540	0	528	0
群 馬	495	1	479	0
埼 玉	490	0	475	△ 1
千 葉	535	0	525	0
東 京	411	0	401	△ 1
神奈川	493	0	478	0
新 潟	541	1	524	1
富 山	539	2	525	1
石 川	519	0	504	0
福 井	519	0	499	△ 1
山 梨	547	0	532	△ 1
長 野	621	0	609	0
岐 阜	488	0	478	0
静 岡	521	0	513	0
愛 知	507	0	499	0
三 重	500	0	488	0
滋 賀	518	0	506	0
京 都	511	0	501	0
大 阪	495	0	480	1
兵 庫	502	△ 2	489	△ 2
奈 良	513	0	500	1
和歌山	495	0	484	0
鳥 取	514	0	504	0
島 根	509	0	500	0
岡 山	526	0	515	0
広 島	523	0	512	△ 1
山 口	504	0	492	△ 1
徳 島	474	0	469	0
香 川	499	0	493	0
愛 媛	498	0	493	0
高 知	458	△ 2	454	△ 2
福 岡	497	△ 2	479	△ 2
佐 賀	519	0	503	1
長 崎	479	0	462	0
熊 本	513	△ 2	497	△ 2
大 分	502	△ 1	480	△ 1
宮 崎	496	△ 1	483	△ 1
鹿 児 島	482	△ 1	469	△ 1
沖 縄	309	0	305	0

注：1 2の農家等が使用しているふるい目幅ベースとは、当該全国農業地域において多くの農家等が使用しているふるい目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。
2 平成28年産水稻の作柄表示地帯別10a当たり平年収量については、6月末頃を目途に決定する。